

自治連わこう



問合せ：和光市自治会連合会事務局（和光市総合福祉会館内） 048(463)0104
自治連へのご意見ご要望は⇒ wako.jichiren@opencity.jp



自治会の
年越し風景
お餅つき
謹賀新年



和光市自治会連合会 会長 波間 貞



あけましておめでとうございます。
会員の皆様には、平成28年の新春をご家族お揃いで健やかに迎えることとお慶び申し上げます。
昨年は自治会連合会の各事業にご協力いただき、感謝申し上げます。

また、単位自治会に於いても、それぞれの事業を活発に推進していただきありがとうございます。
自治会連合会としても、災害や防災に強い地域づくりを目標として、地域住民と協働して押し進めていきたいと考えております。

自治会連合会では本年、次の重点目標をかかげて事業推進をはかってまいります。

自治会内の安心安全のための防災、防犯活動の啓発と環境整備に努め、地域内の美化活動を推進、市民参加を進めるため行政・各種団体と共に協働としての意識を高めて、明るく住みよい地域を目指し、事業を進めてまいります。

とくに、自治会役員の後継者問題、自治会未加入世帯への加入に向けた積極的な啓発運動を推進してまいります。

又、前期・後期、年2回行われる地区懇談会で、それぞれの地域のご意見を頂き、これらの意見を事業に生かして絆の強い地域づくりを進めてまいります。

今後、成果を上げるべく地域の皆様との協働で進めてまいりますので、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年も皆様にとりまして良い年になりますよう御祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

和光市長 松本 武洋



あけましておめでとうございます。
皆様には、輝かしい新春を迎えられたことと謹んでお慶び申し上げます。

自治会連合会・加盟自治会の皆様には、日頃から地域コミュニティの中核として、地域づくりや地域の皆様と市政をつなぐ確かな架け橋としてご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

本年も引き続き、日常生活はもとより、防犯、防災における互助、共助の要である自治会の設立や加入促進、後継者育成事業など、自治会連合会・加盟自治会の皆様との連携の下、必要な活動支援を行ってまいります。

また、本年4月、和光市初の複合型小学校として下新倉小学校がオープンします。エントランスには地域と学校との交流空間を設置し、さらに図書館、児童館・保育クラブを併設することで、地域から信頼される学校づくり、地域に開かれた学校づくりをモデルケースとして推進します。地域の皆様、地元自治会をはじめとする自治会連合会の皆様には新しい学校づくりの担い手として、積極的な参画を期待しております。

結びに、皆様の本年のご多幸・ご健勝をご祈念し、年頭の挨拶とさせていただきます。

平成27年度自治会連合会視察研修報告

自治会連合会視察研修会に参加して

上之郷自治会会長 石山 貴宣

10月26日から1泊2日の日程で、和光市自治連合会の視察研修会が、長野市の松代地区を中心に開催され、19自治会等から市長さんも含めて総勢36名が参加しました。四月から自治会長となり暗中模索で事業を継承して参りましたが、自治連前期地区懇談会等で他の自治会の活発な活動を耳にして、より充実した事業展開の必要性を感じておりましたので、大きな期待を胸に出発しました。

研修会場の松代町伝承館では、歴史風土の解説から「松代における住民主体のまちづくりと住民自治」をテーマに丁寧な説明がなされました。この後、江戸時代から続く城下町の史跡巡りまち歩きを通して、松代城や佐久間象山神社等を見学しました。年間の観光客が50万人も訪れるとのことで、来訪者対応をまちづくりに活かして、多岐多様な業務展開及びその推進が計られていました。住民相互の交流と活動を通じて連帯感が深まり、より住みやすく魅力的なまちづくりを目指していることが、アンケートの結果報告や広報誌等で詳細に周知されていました。今は来年度のNHK大河ドラマ「真田丸」の放映に向けて、地域行政と何と加入率100%！の住民組織が一丸となり、人口の減少や小中高齢化などの諸問題にも屈せず、和気あいあいと活気溢れる先進的な取り組みを推進中であると拝察しました。上之郷自治会に於いても、この研修の貴重な体験を今後の活動に活かすべく邁進する所存です。湯田中温泉宿泊の翌日も又、天候に恵まれてワイン工房、小布施、善光寺と信州の魅力ある地域を散策し、青空の下美しい紅葉真っ盛りの景色の中、たわわに実ったりんごの街道を走り抜けて、風光明媚で歴史と文化の格調高い、秋を満喫した研修会でした。皆様どうもありがとうございました。



松代まち歩きセンターでの研修

視察研修会に参加をして

浅久保仲町会会長 柳下 昇

今年の視察研修会は、長野市松代町を訪問し「松代における住民主体のまちづくりと住民自治について」研修をしました。

現地では、まち歩きセンター（伝承館）でNPO法人夢空間松代のまちと心を育てる会事務局長他から詳しくお話をお伺いしました。

松代地区住民自治協議会は、住民相互の交流と活動を通じて連帯感を深め、住みやすく魅力ある地域づくりに寄与することを目的として活動しており、松代町の全世帯が自治会に加入していること。そして各部会（5部会と3課題別部会）が課題に対してそれぞれ積極的に取りくんで活動をしていること。

NPO法人夢空間松代のまちと心を育てる会につきましては、松代は素晴らしい自然と歴史、文化の誇り高き町ですが住んでいる人々がその素晴らしさに気づいていなかったり全国に向けてその良さが充分発信できていなかったため、平成12年長野市が松代地区中心市街地活性化基本計画で松代の自然や歴史、文化や人など松代にある資源を活かして、町全体を博物館にする「信州松代まるごと博物館構想」を立案しました。そこで市民参加でこの構想を実現し、住んで暮らしやすい、訪れて心癒える町にしていこうと、松代をこよなく愛する町内外の方々100名が集い、平成13年6月15日に、発足し翌年NPO法人の認証を受けたとのことです。

まち歩きセンターお話の後、3グループに分かれて歴史有るまちなかの案内をしていただきました。散策した「歴史の道」は住民意思を汲み取った行政とのコラボレーションでアスファルトから趣の有る構造に変更して、道を辿れば目的地に向かえるとのことで、会の皆さんが活発に活動している様子が伺えました。

翌日は、栗の名産地として古くから知られ江戸時代後期には交易でにぎわい経済の要になっていた小布施町も行程に入っていました。なお今回は、葛飾北斎の美術館「北斎館」と図書館を中心とする「まちじゅう図書館構想」の自宅やお店の玄関先などのスペースに本棚を置いてもらう、町角に「本がある」その一つである歴史のあるお店跡を利用した所を訪問し拝見する機会に恵まれ運営している方から直接お話も聞くこともできました。

この研修は、参加された皆様と交流もさせて頂き大変有意義でありました。

後継者育成講演会「後継者育成」のヒント



12月21日（月）サンアゼリア小ホールにて、自治会連合会主催後継者育成事業講演会「後継者育成のヒント」を開催しました。立川市自治会相談役佐藤良子さんを講師に迎え、経験にもとづいた貴重なお話を伺いました。自治連ほか他市、他団体からも参加者が集まりました。

自治会に大事なものに5つの気「元気」「陽気」「根気」「強気」「やる気」等、勇気・やる気が湧いてくるエネルギッシュなお話で、好評のうちに終わりました。

講演会 CD をお聴きになりたい方は、事務局までご連絡下さい。

平成27年度和光市地域防災訓練

9月27日（日）、市内避難所を対象に大規模災害時を想定したリアル避難訓練を行いました。また、自治連防災部会員・市緊急初動要員による避難所開設訓練を行いました。



自治会訓練参加者

いっとき避難場所までの訓練
572名（16自治会）
避難所への訓練 600名（24自治会）
合計1,172名（40自治会）

【うち要援護者17名、一般参加者4名】

自治連防災委員・事務局 17名
防災リーダー 4名
消防団員 56名
緊急初動要員 39名
市長・危機管理室 9名
朝霞警察 2名

訓練参加者
計1,299名

自治会連合会防犯防災委員

新倉南地区

堀江 昇 （七区副会長）
清水 哲也 （七区副会長）

新倉北地区

福西 真司 （和光会会長）
瀬野 清水 （泉台防災委員）

下新倉地区

堀内 政雄 （浅久保仲町会会長）
柳下 正一 （一新会会長）

白子南地区

梶山 勝彦 （桜自治会）
鈴木 清雄 （南大和団地会長）

白子北地区

塚田 克次郎（大和会防災委員）
榎本 克実 （四晴会副会長）

自治会の防犯パトロール表彰

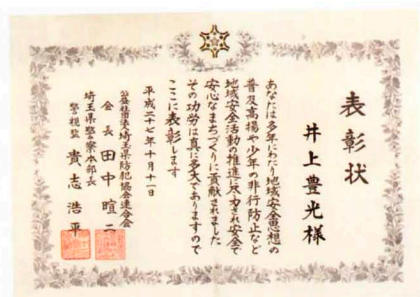
自治会は自主的に防犯パトロールを行い、地域の安全を守っています。今年度は4自治会が表彰状や感謝状を受けました。

○関東防犯協会連絡協議会 防犯功労者
 泉台自治会（代表 本多 好太郎）

○朝霞地区防犯功労賞
 東輝自治会（代表 小澤 克利）
 越戸自治会（代表 柴 吉紘）



○埼玉県防犯協会連合会地域安全功労団体
 向原自治会（代表 井上 豊光）



自治会連合会防犯パトロール報告

平成27年12月20日（日）実施
 地区別参加人数

	参加自治会数	参加人数
新倉南地区	5	24
新倉北地区	12	65
下新倉地区	12	61
白子南地区	15	152
白子北地区	15	73
合計	59	375
市長以下市・警察関係	22	



クリーンオブ和光報告

実施日 平成27年11月22日（日）

参加自治会	84自治会
参加者	5,284人
回収ごみ量	
可燃ごみ	6,830kg
粗大ごみ	2,240kg
合計	9,070kg



編集後記

浅久保上町会会長 飯田 久夫

今年の干支は「申」（さる）であります。この干支の特徴は器用で臨機応変であるそうです。自治連もこのように皆様の期待に応えるべく臨機応変に活動していきたいと思えます。

ちなみに、12年前の「さる年」2004年（平成16年）の大きな出来事は、「新潟県中越地震（死者68名）の発生」・「アテネ五輪で日本が最多の37個のメダル獲得」がありました。オリンピックと言えば、1964年（昭和39年）の東京オリンピックで戸田ボートレース会場に合わせ整備されたのが通称オリンピック道路と言われた笹目通りであります。

4年後には再び東京オリンピックが開催されます。その頃の和光市はどう変化しているかたのしみでもあります。